人権啓発課
☎ 32-1708　FAX 32-0110
✉ jinkenkeihatsuka@city.uki.lg.jp

～「ひと」と「ひと」で築く、やさしく住みよいまちづくり～ を目指して

男女共同参画社会推進委員会が要望書を提出

守田市長へ要望書を提出する森川会長（左）

3月8日は「国際女性デー」です。国際婦人年である1975年3月8日に国連で提唱され、1977年の国連総会で議決されました。

市では国際女性デーのこの日、市男女共同参画社会推進委員会が、守田憲史（けんし）市長と溝見友一（ゆういち）議長へ、男女共同参画社会の推進を求める要望書を提出しました。

今年度、要望を受けた市議会は、男女共同参画推進研修会を開催。市内企業クラブでも、総会や研修会でワーク・ライフ・バランスの推進、ハラスメント防止セミナーが行われました。

「私と男女共同参画活動」

市男女共同参画社会推進委員会　森川 公子（きみこ） 会長

私が信念を持って生きる姿を学んだのは今から65年前。「人形のように床の間に飾られるだけの女になるな。かと言って雑巾のように使い捨てにされる女にもなるな。」という高3の担任の先生の言葉です。

女性の立場が弱かった当時、「自立」して生きることの大事さを教わりました。この言葉が私の人生の指針となり、現在があるように思います。

消費者トラブル 注意報

商工観光課　☎32-1604

高齢者が狙われる

「老人ホーム入居権を譲ってほしい」 こんな詐欺電話に注意

事例　「老人ホーム入居権」を譲ってほしいと電話があり、承諾すると「あなたの名義で申し込むので一度あなたがお金を支払う必要がある」「権利を譲るために取引実績が必要でお金を振り込む必要がある」などと言葉巧みにお金を支払わせられた。

消費者へのアドバイス

- 「権利を譲って」「名義を貸して」などの電話は詐欺です。留守番電話や番号表示機能を活用し、心当たりのない電話には出ないように。
- やりとりしてしまっても、絶対にお金は払わずに、すぐに警察や家族・友人、消費生活センターなどに相談しましょう。

相談は **宇城市消費生活センター ☎33－8277** へ

かしこくみんなの 年金学

熊本東年金事務所 ☎096-367-2503
医療保険課 ☎32-1417

国民年金への加入

手続きを忘れると受け取れないことも

国民年金　国内に住む20歳以上60歳未満の全ての人が加入。被保険者の種別は次の3つ。

1号被保険者	2号被保険者	3号被保険者
農業者・自営業者・学生・無職の人など	会社員・公務員など	2号被保険者に扶養されている配偶者

こんなときは手続きを		
	退職した ▶	第1号の資格取得（被扶養配偶者も同様）
厚生年金に加入する配偶者の扶養から外れた	▶	第3号から第1号へ種別変更
	海外に居住する ▶	第1号被保険者の継続加入（任意）

申請先　年金事務所、市役所・各支所
※オンラインでも申請できます。
※添付書類などは、事前に提出先に確認してください。

日本年金機構HP

みんなで学ぼうじんけん

生涯学習課　☎32-1934

本田博通（ひろみち）地域人権教育指導員が学校で働いていた経験などから「じんけん」の今をお伝えします

ミナマタに育った教師の話　前編

小・中・高校生を対象とした宇城市のふれ愛学習会は、1年おきに水俣市に出かけています。子どもたちは公害を引き起こした、チッソ工場（※チッソ㈱、以下チッソ）の排水口跡や患者が多発した集落を歩き、水俣病差別を通して人権を学びます。

現地講師として子どもたちを案内してくれるのは梅田卓治（たくじ）さん。水俣市の小学校に勤める教師で、長年患者さんたちと共に差別の解消に取り組んできました。加害企業であるチッソに勤めていたお父さんのことや子ども時代に起こした自分の差別事件。現地学習に参加する中学生の事前学習のために宇城市に来て、「自分と水俣病差別」について話してくれました。

「原因の水銀を垂れ流したチッソの責任は明らかで、そこで働いていた父に責任がないとは言わないけれど、色んな立場の人たちがいたことを知っていてほしい」。チッソに勤めながら定時制高校に通っていたお父さんの育った環境、そこで働く人たちの印象深い記憶が語られます。

「水俣では患者交流を学校で行っていて、その子どもの感想から思うことがあります。『前向きに生きていてすごい、自分も前向きになりたい』という内容です。気持ちは大切ですが、そこに『なぜ前向きになったのか、自分も前向きに生きるためにはどうしたらいいのか』という先が書かれていない。

そんな時はもっと深く患者さんの声や思いを伝えるようにしています。患者さんが前向きになれたのは、『水俣病になったのは自分が悪いわけではない』『水俣病になったのは恥ずかしいことではない』『水俣病について学んだことで、自分と向き合い受け入れることができた』など、理由があります。

苦しいことを共有したり相談できる仲間ができたから、向き合えるような学習と本音を語れる家族や仲間がいたから。そういった患者さんの体験を通して、心の持ち方や価値観を学ぶことが患者から学ぶ、深く学ぶということです。」

（次号に続く）

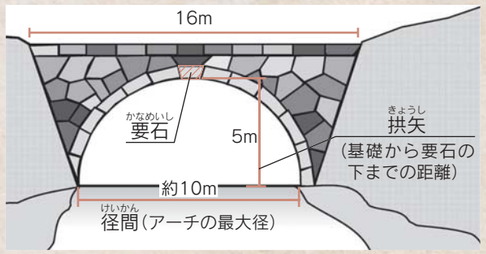
郷の記憶をたどる

文化スポーツ課　☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわるさまざまな文化の魅力を発信します

開館時間　10時～17時
休館日　月・木曜（祝日の場合はその翌日）
住所　豊野町糸石3818　☎45-2102

薩摩渡は、豊野町糸石の浜戸川に架けられた石橋です。昭和56年11月に旧豊野村の文化財指定を受けました。橋の長さは16㍍、橋幅は約4㍍です。



1832（天保3）年に木製の橋が架けられ、その後、改めて石製の眼鏡橋に架け替えられましたが、架橋年代や石工など、詳細は不明です。

この橋は、小川町から娑婆神峠（さばがみ）を越えて御船町方面へ通じる、薩摩往還（おうかん）（現在の一級国道に相当）上に架けられたことから、「薩摩渡」と呼ばれています。現在は歩道としてのみ使用され、保存状態は良好です。